

あ と が き

平成 18 年度における，広島県地域保健対策協議会の各委員会活動の集大成である「広島県地域保健対策協議会平成 18 年度調査研究報告書」をお届けする。関係各位のご熟読をお願いしたい。

平成 18 年度の広島県地域保健対策協議会は，A. 保健医療基本問題，B. 地域連携，C. 子育て支援，D. 健康づくり，E. 感染症という 5 つの大きなカテゴリーのもとで，1 委員会，8 専門委員会，6 特別委員会，6 部会という組織構成で事業を推進してきた。

本年度に新規，又は組織改編された委員会は，産科医療提供体制検討部会，小児科医療提供体制検討部会，生活習慣病対策専門委員会，後発医薬品問題検討特別委員会であり，小幅な改正に留まりました。しかしながら，いずれも今後の広島県の保健・医療・福祉のあり方について，その方向の決定づけを行う重要な委員会であり，委員の皆様を活発な協議により大きな成果が得られたものと確信している。

終わりに当たり，参画していただいた各委員会の委員長・委員の方々のご協力・ご労苦に深謝申し上げます。

そして，この報告書に盛り込まれた成果や提言が，今後の県行政の施策に充分反映されることを祈念する。

平成 19 年 11 月

広島県医師会（地対協担当理事）

副 会 長 高 杉 敬 久
常 任 理 事 堀 江 正 憲